

■ 現役大学生が“**社会人基礎力**”“**考動力**”の礎を先輩卒業生に指南！？ ■

## 学生主導型「交渉学ワークショップ」を東京で開催

～**学生発のオリジナル教材**を駆使してアクティブラーニングによる学びを検証する～

【日 時】7月29日(土) 10:00～17:00 【場 所】関西大学東京センター

関西大学ではこのたび、本学のアクティブラーニングの実状検証および実践体験を行う、学生主導型の「交渉学ワークショップ」を、7月29日(土)に本学東京センター(東京都千代田区)にて開催します。

本件の  
ポイント

- ・“学生主導”“学生目線”で、いま注目のアクティブラーニングの実態を検証
- ・学生オリジナル教材を活用して、社会人・大学生協働で交渉学を実践体験
- ・社会人を相手に現役大学生がコーディネーターを務める

本ワークショップは、関東在住の本学卒業生ならびにアクティブラーニングに関心のある社会人を対象に、これからの社会人基礎力および考動力の礎となる交渉学を協働で学ぶことを目的としています。今回で12回目の開催を迎え、関西圏のみならず年に一度は関東圏でも開催するなど、幅広く活動展開しています。

当日は2部制で、午前はポスターセッションとして、現役大学生が自学の事例に基づいた、学生目線でのアクティブラーニングの現状報告を行います。午後は、社会人・学生の混合チームでプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL、課題解決型学習)を行い、アクティブラーニングの実践体験を通じて、win-winの関係づくりのためのスキルを学びます。

### ■ 注目すべきは、“学生主導”であること

本ワークショップの醍醐味は、なんといっても“学生主導”“学生目線”であるということに尽きます。通常、こうしたワークは専門知に富んだ教授が主導するもの。ところが今回は、現役大学生がコーディネーターを務め、大人および他の学生をリードするという構成になっています。さらに、使用する教材コンテンツは学生自らが考案。受動的な“教わる”から、主体的に“学ぶ”の教育の方向性が変化しつつある今日、その主役となる学生が教育の在り方をどう考えているのか、その実態を覗くことができます。

### ■ コーディネーター役にはどんな学生が？

コーディネーター役を務める学生は一体どういった人物なのか。それはLA(ラーニング・アシスタント)として日々のアクティブラーニングで活躍する学生たちです。今回のワークショップに先立ち、7月1日に千里山キャンパスで、学生が開発した交渉学教材コンテンツを使って、クリティカルシンキングの大切さと学びを促進するシンキングツール活用についてのワークを実施しました。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

### <第12回「交渉学ワークショップ」の概要>

【日 時】7月29日(土) 10:00～17:00 ※2部制(詳細次頁)

【場 所】関西大学東京センター(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階) ※入館手続:3階

【コーディネーター】LA学生6名 【監 修】三浦 真琴(教育推進部教授)、山本 敏幸(同)

【概 要】(午前)ポスターセッション(本学を中心に各大学でのアクティブラーニングの現状報告)

(午後)学生主導型ワーク(社会人と学生合同チームによるPBL)を通じた交渉学の実践体験

【参加人数】社会人(企業の社員教育、人事研修等で交渉学の普及に携わる方々)および大学生各20名程度  
※予定

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

## ■交渉学ワークショップについて

---

「交渉学」とは、話し合いを通して、双方のメリットを考えながら信頼関係を構築し、win-winの合意形成をいかに行うかを考える学問であり、近年ビジネスリテラシーの一つとして注目されつつある。同ワークショップは、2014年から毎年数回実施しているもので、各界で活躍する本学卒業生および他大学の学生とともに、“社会人基礎力”や“考動力”の礎となる交渉学を協働で学ぶ機会としている。

## ■当日プログラムの詳細（予定）

---

- 9：45～ 開場・受付開始
- 10：00～12：00 ポスターセッション 各大学でのアクティブラーニングの状況報告  
【テーマ：学生目線で捉えた各大学のアクティブラーニングの共有】  
＜関西大学：4テーマ、他大学：3テーマ＞
- ・7月1日実施の交渉学ワークショップの報告
  - ・国際会議 ISGC2017でのインターンシップ経験と COIL キックオフセミナー（交渉学）でのファシリテーションの報告
  - ・台湾大学との COIL 授業の取り組みの報告 ほか
- 12：00～13：00 休憩
- 13：00～16：30 交渉学ワークショップ 「社会人と学生がチームで考える信頼関係」  
【テーマ：多者間交流（三方良しの交渉学：win-win-winの信頼関係構築）】
- ①関大×交渉学の現状報告：山本 敏幸（教育推進部教授）、田上 正範（同研究員）  
最近の本学でのアクティブラーニングの取り組みで展開する交渉学の動向を報告
  - ②学生が考えた模擬交渉の実践
  - ③win-winの関係を考えるワーク  
＜コーディネーター＞井上 宗知、上田 綾香、良枝 あかり（いずれも3年次生）  
および山本 敏幸
- 16：30～17：00 まとめ・閉会

## ■社会人および他大学の参加実績

---

（社会人）※企業の社員教育、人事研修等で交渉学の普及に携わる方々

富士ゼロックス株式会社、iGroup Japan、Vidyo Japan 株式会社、アシストマイクロ株式会社、  
アーカス総合法律事務所、たかお IP ワークス社 など

（他大学）関西学院大学、帝京大学、神戸親和女子大学、追手門学院大学、東京富士大学 など

## ■LA（ラーニング・アシスタント）とは

---

全学の初年次対象の科目を中心に、授業中における学習支援、授業の前後における担任者との授業に関する打合せ、そのほか受講生の学習を促進する業務の補助を行うピアサポート団体。自身の受講経験に基づいて、受講生が大学生としての学び方や学ぶ姿勢を体得できるように促進すること、および当該科目における受講生の学習効果を高めることを目的とする。

具体的な業務は、グループワーク等のファシリテーション、モデルプレゼンテーションの提示など。